

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年5月前半）

1. 経済

- 4月の年換算インフレ率は1.72%で、2ヶ月連続で2%を下回った。また、2013年及び2014年のインフレ率それぞれ1.7%及び1.8%の予測。2014年第1四半期には物価水準が、前回の賃金物価スライドの発動時水準の2.5%増に達する見込みであり、次回のスライド（給与・年金の2.5%自動引き上げ）は2014年10月1日に実施される予定。（8日付統計局プレスリリース）
- 当国ステンレス鋼メーカーのAperam社、2013年第1四半期の純損益は経済状況の影響を受け2800万ドルの赤字であったが、第2四半期にはやや回復する見込みであると発表。また売上高は、2012年第1四半期比で約10%減少の12億7000万ドルで、EBITDA（利払い・税・償却前利益）は6500万ドル。（8日付ル・コティディアン紙）
- 当国競争評議会（Conseil de la concurrence）、Telecom Luxembourg Private Operator 社より出された、商用ブロードバンドによるインターネットアクセスにつきP&T社が独占的地位を乱用しているとの訴状を8日に却下。（10日付ペーパージャム誌電子版）
- 当国の製鉄設備分野の企業であるポールワース（Paul Wurth）社、2012年の税引前利益は1780万ユーロ。厳しい経済状況にも拘わらず、同社グループの新規受注額は5億760万ユーロで、2011年比20%増であった。なお、同社は2012年11月にIHI社と「株式会社IHIポールワース」を合弁設立している。（15日付ル・コティディアン紙）
- ルクスエアー社の混合委員会、ボーイング737-800の機体尾部が前部よりも重いことから、機体尾部接触の危険性があるとの見解を14日に発出した。他方、同社は尾部接触の危険性は極めて低いとしている。なお、同社は当該機体を現在1機使用中で、2機目を導入する用意を進めている。（15日付ヴォルト紙電子版）
- 電力・ガス会社Enovosグループ（本社当国）、2012年の売上高は26億4170万ユーロで、2011年比6.3%増。当国の電力消費量は鉄鋼及び自動車部門の生産拠点閉鎖等の影響を受けて2011年比▲4%であったが、天然ガス消費量は同1.83%増加。（16日付ル・コティディアン紙）

2. 金融

- 当国ライフアイゼン（Raiffeisen）銀行、2012年の純利益は4290万ユーロで、前年比149%増。利益増加の要因は、同社グループの再保険部門

の統合のためであるが、右要素を除いても、前年比1.2%の成長。(8日付ル・コティディアン紙)

3. 政府

- シュナイダー経産相、2日及び3日にダブリン開催の欧州競争担当相理事会に出席。(2日付政府公報)
- フリーデン財相、当国金融センターのプロモーションのため、6日から7日にかけてドバイ及びリヤドを訪問。(3日付政府公報)
- フリーデン財相、リヤドにてサウジアラビアとの二重課税防止条約に署名。(7日付ペーパージャム誌電子版)
- シュナイダー経産相、8日に2013-2017年の公営企業による投資計画を発表。(8日付政府公報)
- フリーデン財相、10日に慈善活動財団であるFondation de Luxembourgの年間報告書発表の場に同団体理事長として出席。(10日付政府公報)
- フリーデン財相、13日及び14日にブリュッセル開催のユーログループ及びEU財相会合(ECOFIN)に出席。(13日付政府公報)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。